

R08c **RMから考える銀河系磁場**

小澤 武揚、祖父江 義明、及川 翔太、津田 裕也（明星大学）

近年になり宇宙磁場への理解は急速に進みつつある。しかし天の川銀河に於いては内部から観測するということの難しさから未だに詳細な構造がわかっていない。一般的な渦巻銀河ではその腕に沿うように磁場が存在することがわかっている。同様に天の川銀河にも大域的磁場構造があると示唆され続けてきたが、Taylor et al.2009 によるファラデー回転の解析によりその存在が明白となった。Pshirkov et al.2011 によるとその構造は円環構造ではなく対数螺旋構造をなしていると認められるようである。

本研究では天の川銀河に円環磁場、或いは対数螺旋磁場がパンケーキのように積み重なり存在するモデルを立て、そこから得られるファラデー回転量の分布と実測値との比較から天の川銀河に存在する大域的磁場の構造について考察した。